



認定特定非営利活動法人

RASA-Japan ニュースレター

理事長 藤井典夫

〒468-0014 名古屋市天白区中平2-2627

Tel/Fax 052-803-1649 <http://rasa-japan.com>

e-mail info@rasa-japan.com

郵便振替 口座番号 00890-4-31185 受取人 特定非営利活動法人RASA-Japan

2019.7
Vol.31



RASAの目指すもの 理事 藤井 忠子

両親を見送った2年後の2002年、59才の時にミンドロ島での学校建設活動に参加して、大きな衝撃を受けました。「この活動の体験こそ、今の日本の若者に！」と思い、継続してきました。現地で活動中、学生が日々純粋に取り組んでいく中で、働き方に対する姿勢の変化や人として成長していく姿が、私にその確信を与えてくれたのです。

現地で働き、ホームステイをする異文化体験の中で直接、人間関係のすばらしさ、大切さを学べる。経済的な発展と共に働く時間に追われ、人々の交わりが希薄になり、幸福感を実感できなくなっている。フィリピンの貧しい人が互いに助け合い、社会が子育てや高齢者を見守っている。参加した学生が「人」として生きる中で、「何が大切なものか」「幸せ」をどう考えるのかを確認してくれたらと願う。

「豊かさ」、これが経済的なものだけではないことに気付いてほしい。

2015年国連で採択された「持続可能な開発目標」の第一に、貧困をなくす事とあります。それには、組織の自律的な成長—教育を受けられる環境をつくることに置かれています。RASAはまさにそれらの改善を目指して、貧富の格差の激しいフィリピンで、富とかけ離れた絶対的貧困状況の田舎の子供たちを支援する活動をしてきました。世界の経済、文明は著しく発展を続けている陰では、発展から取り残された弱い人々には光が当たりません。これでは、目指す持続可能な発展は見込めません。グローバル化が進む

世界の動きの中、RASAは同じ人間の恵まれた日本からそういう人達に目を向けて、支援を継続してきました。現地の実情を知り、支援の経過を見守り、必要な支援の継続こそが大切です。都会からの路上生活者を移動させた、約6,000人が在籍するマンモス小学校で教室を増築し、栄養失調児に質の良い給食によって体質が改善し、欠席児童も減り、留年者が大幅に減り、成績も向上しました。今年も全員卒業を目指します。そして、親から引き継がざるを得ない貧困の連鎖を断ち切ることこそ、根本的な解決になると信じます。

このように活動が継続できましたのも、今までご支援して下さった皆様のおかげです。心から感謝とお礼を申し上げます。また、RASAの活動を新しく支援をして下さる方が増えますことを願うばかりです。

今、RASAは他のNPOと同じく、活動の継続と後継者の育成の問題を抱え、組織基盤づくりに着手したところです。大企業の社会への恩返しとして、その責任を背負うことが通例化。その方法は、その活動に対するものが殆どなのですが、今多くのNPOが抱える創立者と協働者の高齢化や資金獲得の問題などで、活動の基盤がしっかりしていないと、支援活動の維持が困難という問題が顕在化。東日本の震災後、民間の社会貢献(利他のため)の働きの大きさが評価され、行政も動きを見せて施策が始まりました。RASAで抱えている役員の高齢化の基盤対策、実情に沿った問題解決に向け、取り組んでいくことになりました。まずは、基盤強化の支援サポート対策に応募するため、準備を始めたところです。スタッフ一同真剣に取り組んでおりますので、どうぞ今後とも皆様のご理解とご支援、ご提案を引き続きお願い申し上げます。

本年2月にボランティア活動で建設した学校が竣工しました！

2月にフィリピン プラカン州パンディー地区サンアントニオ小学校で行った学校建設ボランティア活動で、参加学生35名、引率者3名で建設作業に励んだ校舎が完成、竣工となりました。

いつもは教室に生徒が詰め込まれているような状態ですが、綺麗に飾られた新しい教室で余裕をもって楽しそうに学ぶ姿に、胸がいっぱいになりました。RASAが建設した校舎を囲む塀には、参加ボランティアの手形が埋め込まれています。



活動報告

5月5日(日) 天白公園にて学生ボランティアによるBBQ大会を開催！

昨年実施し好評だったバーベキュー大会を今年も行いました。今年学校建設に参加したボランティア学生を中心に、40名以上の方が参加されました。前夜からの場所取りや準備の甲斐あって当日は好天に恵まれ、青空のもと美味しい料理を堪能し、お互いの親睦をより深めながら楽しいひとときを過ごしました。



6月23日(日) 「フェスタ・ジュニナ」交流会&バザーに参加

東海地方に居住されるブラジル、フィリピン、ベトナム等の方々による、「フェスタ・ジュニナ」というお祭りが豊田スタジアムで開催されました。会場は大勢の外国の方々で賑わい、良い交流の機会となりました。RASAも15名の学生ボランティアと平針教会喫茶部の井上マリサさんの協力を得て、フランクフルトと枝豆の出店販売を行い、多くの方にお立ち寄りいただきました。また、主催のブラジル人共同体からRASAにご寄付をいただき、本当にありがとうございました。



2020年2月の学校建設地が決まりました

ブラカン州パンディー地区 カカロンバタ小学校

6月9日から理事長がフィリピンに出張、2020年2月に行う学校建設地を入念に調査してきました。ブラカン州のパンディー地区です。教育省のルネさんから申請されていたカカロンバタ小学校の3教室の増設工事を行います。今回の出張は学校長を始め、バランガイ・キャプテンという校区の責任者、PTA役員、地域役員の方たちが迎えてくれました。特にボランティア学生の受け入れ、治安の確保の体制に重点を置いてRASAの考えを示し、現地を確認してきました。市役所も訪ね、市長とも面会してきました。学校建設支援には大変喜んでおられました。

カカロンバタというこの小学校も、二部授業で対応して教室不足を補っています。全校生徒数は1,392名です。キンダーガーデン(幼稚園)が3クラスの二部制、合計6クラス。一年生から六年生までが、2クラスの二部制で合計24クラス。午前の部と午後の部に入れ替えて、教室を使用しておりました。この学校でも毎月転入者があり、児童の増加に歯止めがかかっておりませんでした。



学校建設ボランティア 50名募集中！

ボランティア活動とホームステイを通して、今しかできない体験をしてみませんか？

ご興味のある方は、メールまたは電話にてRASAまでお問い合わせください。

期 間：2020年2月2日(日)～19日(水) 18日間

参加費：22万円(航空運賃、現地移動費、宿泊費など全ての費用を含む)

申込締切：2019年11月7日(水)



2019年度(6～3月)10か月間の給食支援の契約 理事 藤井忠子

4月7日(日)～14日(日) 2019年度給食支援活動の契約と8月に実施予定のStudy Tour 活動の準備のため、フィリピンへ出張してまいりました。契約内容は、下記のとおりです。

また、かねてよりRASAから依頼をしていた、給食支援児童の家庭状況調査を行いました。RASAの給食支援の必要性を痛感する、出張訪問となりました。

【契約内容】

- 1) 給食1食分材料費を48円とする。(米、野菜、肉、魚、果物、牛乳、ビタミン剤、ミネラル水)

給食は週5日、月平均20日行っています。

年間支給予算 年間2,628,000円

内訳 ・食 材 200万円(全体の76%)

・人件費管理費 40万円(6人分) 残りは、歯ブラシ、歯磨き、洗剤等

- 2) 人件費のアップ要求に対し、最低賃金に近づける意味からも要求にこたえる。消耗品の小口買いをやめてまとめ買いをする。ボックスを設置し、使い捨てティッシュの廃止等、工夫と改善を指導の結果、人件費アップ分が生み出せた。

- 3) 新校長が要求したRASAの方針に合致しない間接費を教育省と話し、支払わないことで理解を得る努力をした。

- 4) 各月の給食日数が違っても同じ予算だったが、実際の給食支援日数(年間)に合わせ、きめ細かい予算設定を指導した。年間で、昨年度実績以下の予算で活動推進可能を確認し、契約に至る。

- 5) 今年度、月24万～28万円で予算編成。

年間総予算額は270万円弱(クリスマスの特別予算を含む)を予算化(1PHP=¥2.2)

- 6) 問題点は、4月、5月は春休みで休校となるため、フィリピンのシステムで給食を支給できない。

1年かけて支援児童に体力がついてきたのに、また家で食事を取ることができない児童が多い。

そのため、体重、体力が落ちてしまいます。先生方と相談をしましたが、未だに解決策は見いだせない現状です。



サウスビル I 小学校の先生方



←給食支援児童の家庭訪問↑



カブヤオ市教育省から
頂いた表彰盾

2019 Study Tour for Feeding Program Forth -給食支援ボランティア活動-

8月25日(日)～9月2日(月)に参加学生15名(予定)と給食支援ボランティア活動を行います。フィリピンでは、素晴らしい人と人の繋がり、助け合う姿勢、純粋な子どもたちの笑顔が待っています。参加学生には、異文化体験から、これからの人生の糧となるものを得ることができるかと思います。

第1回 RASA研修会 9月に開催！

日々の忙しさから離れ、静かで豊かな自然環境の中でゆっくり自分を見つめ、講習会を通してそれぞれの環境や視点から話し合っていく中で、どう生きていくかを考えていく良い機会になる研修会です。宿泊はログハウス、食事は参加者の皆さんで協力して自炊&バーベキューの予定です。

参加ご希望の方は、RASAまでメールか電話にてご連絡ください。

日 時: 9月9日(月)13時現地正門前集合(昼食は済ませてきてください)

～10日(火)17時半 バーベキュー片付け終了後 現地解散

場 所: 多治見修道院 岐阜県多治見市緑が丘38(重要文化財 カトリック多治見教会) ●駐車場有

参 加 費: 8,000円予定(参加人数により変動があります)

申込締切: 8月15日(木)



宿泊施設 ログハウス



ログハウス 室内



屋根付きバーベキュー場

第10回定時会員総会を終えて

RASAの定時総会が10回の節目を刻みました。そして、新たな10年に向けて既に力づく歩みだしています。「平成」の年号も終わり、新たな年号「令和」がスタート。平成最後の月と令和最初の月の中間、5月18日に定時会員総会を終えました。ニュースレター発行を機会に事業の概況をご報告させていただきます。



定時会員総会出席の皆様

学校建設事業

ブラカン州パンディー地区に平屋建て、トイレを備えた三つの教室を建設しました。

この校区の住人の殆どは、フィリピン中部ビサヤ地方や離れ島などからマニラに仕事を求めて引っ越してきた人たちで既に20年近くなるそうです。学校は3階建て校舎、15部屋がただ一棟です。児童数は約1,400名。

校長室兼応接室、文書書庫に一部屋、職員室に一部屋使われています。残りの13教室を午前と午後の二部に分かれて、子供たちが学んでいます。1年生から6年生までの小学校の部が各学年2クラス、優先的に使用しています。プレスクール(幼稚園)には、一部屋だけしか割り当てられていません。抽選入学漏れの約50名近い子どもが待機しています。RASAの教室が完成すると3教室がプレスクールに充てられ、一気に待機児童がなくなるそうで、大きな期待があります。そして、学校全体では一つの部屋が余裕となるため、待望の保健室として整備したいとのことでした。しかし、今でも多い時には、ひと月に二桁で児童がマニラ方面から移住してきており、保健室は夢かもしれないと校長は半分あきらめておられました。

栄養障害児救済事業

東京のカトリック町田教会で活躍されている「手を貸す運動Ⅱ」の多額の資金支援に支えられ、栄養失調に苦しんでいる子供たちはRASAの給食支援活動により、順調に体力を回復し、授業に集中できるようになりました。

前校長アイダさんの発案で5、6年生の高学年生ほど体力をつけ、出席率を確保して全員が卒業できることは、彼らにとって義務教育のハイスクール卒業後の就職先を確保しやすくし、そのことが貧困からの脱却に大いに役立つというのです。そのため、集中して5、6年生を対象に給食支援をしているのです。しかし、課題もあります。フィリピンは、新学期に移行する4月と5月が日本でいう春休みです。給食支援活動も制度上、休まざるを得ない状況です。折角回復した体力が、この2か月で食事がない元の生活に戻ってしまいます。休みの間も給食室を開放していただき、給食支援活動は維持してもらいたいと思います。学校サイドにも様々な課題があるようで、以前に問題提起したまま、未だに解決しておりません。

ボランティア派遣事業

学校建設事業と栄養障害児救済事業には、日本の大学が春休みと夏休みの時期を選び、大学生を現地へ派遣します。前回の学校建設事業は男子12名、女子23名が、給食支援活動では作業場の関係で男子2名、女子14名が一人ずつホームステイをして貴重な異文化に触れ、人との繋がり、家族夫々が持っている役割と大切さなど、普段の日本と違った生活を体験しました。豊かさとは、物質的な尺度で測定しがちな自分に気がつき、ホームステイの良さを理解していただきました。活動の記念として、作文を「文集」、写真を「DVD」にまとめ、毎回全員に配布しています。



平成30年度「特定非営利活動に係る」活動計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日まで

単位:円

科 目	前期決算	当期決算	備 考
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入	220,000	290,000	会員の年会費
1) 正会員会費収入	220,000	180,000	
2) 賛助会員会費収入		110,000	
2 事業収入	12,224,414	9,450,000	ボランティア参加費
1) ボランティア派遣事業	12,224,414	9,450,000	
3 補助金等収入			
1) 受取助成金			
2) 受取補助金			
4 寄付金収入	6,236,486	5,861,918	
1) 寄付金収入	6,236,486	5,861,918	手を貸す運動Ⅱ他寄付金
5 雑収入	23,255	9,615	
1) 受取利息	48	34	銀行利息
2) 雑収入	23,207	9,581	
経常収入合計	18,704,155	15,611,533	
Ⅱ 経常支出の部			
1 事業費	15,901,041	14,844,658	
1) 学校建設事業	12,038,343	10,875,278	
2) 栄養障害児救済事業	3,862,698	3,969,380	
2 管理費	2,140,090	2,696,466	
1) 会議費	314,348	90,824	会議関連費用
2) 旅費交通費	530,116	437,618	航空運賃等
3) 賄費		367,932	学生の活動関連費用
4) 通信運搬費	142,685	248,309	郵送料等
5) 消耗什器備品費	106,742	138,452	
6) 消耗品費	633,100	852,994	事務用消耗品等
7) 賃借料	309,108	415,500	駐車料他
8) 諸会費	14,560	16,000	
9) 租税公課		1,450	収入印紙等
10) 雑費	89,431	127,387	振込手数料等
経常支出合計	18,041,131	17,541,124	
経常収支差額	663,024	▼1,929,591	
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益計			
Ⅳ 経常外費用			
1) 過年度損益修正損			
経常外費用計			
当期収支差額	663,024	▼1,929,591	
前期繰越額	11,783,245	12,446,269	
次期繰越収支差額	12,446,269	10,516,678	

【コメント】

フィリピンの休眠口座を解約しました。

会員会費を今期より正会員会費と賛助会員会費とに分類しました。

学生のボランティア募集CD作成等の活動費用を今期より会議費から賄費で処理しました。

名古屋市長年大学鯉城学園に通学して

理事 山本良治



ひょんなことから鯉城学園(2年制)に通学し始めたのは、一昨年(2017年)4月からでした。60才以上の高年者が学ぶ学校です。RASA-JapanのNPOボランティアの事を何とか皆に知らせたいと思い、通学してから1年程経過した頃、クラスの飲み会又はクラブ活動の飲み会の都度RASA-Japanのニュースレターを配布して皆に呼び掛けましたが、何の興味も示してくれませんでした。

昨年夏休み前に、「私たち学生の中でボランティア活動に携わっている方は、是非活動の内容を文章に纏めて提出して欲しい」との応募要請がありました。早速、夏休み中に文章を纏めて学校に提出した処、12月の2週目の共通講座の中で発表して欲しいとの通知を手渡されました。発表者は3名で、私は海外ボランティアを手掛けている部門で発表者に選ばれた様です。私は、全ての人の貧困からの脱却を求める思いを含め、RASAの活動について発表をしました。

発表後、「素晴らしい活動をしているね！」と励ましの言葉をクラス・クラブの沢山の友達から声を掛けて頂きました。やはり共通講座の中で説明した事により、皆の認識がかなり変わっていったと考えます。色々な方々からご寄付も頂戴し、感謝の気持ちでいっぱいです。

このような機会を与えて頂いた事を心から御礼申し上げます。今では、良い思い出の一つです。

ゴールデンウィークに学生ボランティアのOB・OG会！

RASAの学生ボランティアOB・OG会が、5月2日に2017年度参加学生7名、5日に2014年度参加学生5名で行われました。お互いに近況や仕事の悩みなどを家族のように語り合う、心とむかひとなりました。活動参加から年月は経っていますが、今も変わらぬ笑顔の花が咲き、時が戻ったように感じました。

そして、学生ボランティア同士の婚約報告を受け、びっくり！飛び上がるほどの喜びです！RASAで結ばれた絆が固く続いていくことが嬉しい限りです。



2014年度参加 学生ボランティア



2017年度参加 学生ボランティア

今後の活動予定

- 7月21日(日) 募金&ボランティア体験発表会(AM:11~) カトリック平針教会・カトリック聖心教会
- 7月28日(日) 募金&ボランティア体験発表会(AM:11~) カトリック南山教会
- 8月 4日(日) 募金&ボランティア体験発表会(AM:11~) カトリック主税町教会
- 8月10日(土) スタディーツアー事前研修会
- 8月25日(日) スタディーツアー(給食支援ボランティア)出発 ~9月2日(月)帰国
- 9月9・10日 第1回RASA研修会 多治見修道院
- 9月末 スタディーツアー帰国反省会
- 10月 6日(日) 募金&ボランティア体験発表会(AM:11~) カトリック主税町教会
- 10月20日(日) バザー&募金 カトリック平針教会
- 11月 7日(木) 学校建設ボランティア活動 参加申込み締切
- 11月16日(土) 学校建設ボランティア活動 第1回事前研修会(第2回 12月14日、第3回 1月18日)

RASA-Japanは皆様の会費と寄付金で運営されています

編集後記 今号より小林さんから引き継ぎ、ニュースレターを担当させていただきます、宮嶋です。よろしくお願いいたします。RASAでは無事定時総会を終え、今年度のボランティア参加募集活動に日々励んでいます。そこで、RASAの活動を身近に感じていただくために、ホームページだけでなくInstagram やFacebook等のSNSでお知らせや報告を随時行っています。しかし、私にとっては初めてのSNSなので、我が子に助言をもらいながら取り組んでいます。Instagramでは参加学生中心に発信しており、参加学生の声からRASAの新しい部分を感じていただけたと思います。ぜひ見ていただいて、ご意見、ご感想をお聞かせください！

